

一番星プレス

Vol. 22 1991. 1. 1

発行 長沼・楯谷税務会計事務所

発行責任者 長沼淳子

年末年始
休みのお知らせ
勝手ながら12月29日(土)～
1月5日(土)まで休ませて
いただきます

「何が大事かを考えた」 戦略と計画を 新年にあたって

所長 長沼隆夫

土地、株、バブル経済は大きく破壊された。相続税を中心とする節税対策商品もその目的を失いつつある。

薄く、広くをねらいに所得課税から消費・資産への課税へと熟成された安定経済への対応が計られつつある。

こちらで新年にあたってじっくり考えてみようではありませんか。

何が大事か、重要か、どうすべきかを。

人手が確保できるかどうか、できなければどうすべきか、パートか高齢者か女性の活用か、採用の為には給与か、休日か、福利厚生か、生産性向上か。

利益の確保には、売上第一か、粗利益か、経費の節約か、粗利益は客数なのか、粗利益率なのか、その為には客層は、商品構成は、どこをねらうべきか。

人手不足、経費節減を考えると外商か店売りか、店の改造はすべきでないか、陳列の方法は、宅急便の活用は。

仕入、売上のロットは、大量販売は戦略とし

てはまずい、大量仕入も失敗する。少ししか売れない、少量しか出ない、商品にシフトの変更も。とは言え、売れる商品を見極め、その商品へのエネルギーを集中させる事。

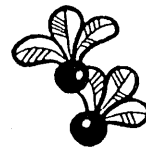
人は、儲けは、伸びている企業、儲かっている企業、生産性の高い企業、技術のある企業、合理化されている企業、省力化されている企業、信用のある企業、人気のある企業、有名な企業、イメージの良い企業に集る。(この中の一つをものに出来ればすべてに通じるのではないでしょう。)

どれもこれも厳しく難しい問題です。

「鶏」が先か「卵」が先かともいえるでしょう。



小さな事の積重ね
しかないのですが、
「何が大事か」を考え
積極的に取り組もうで
はありませんか。私共
もお手伝いします。



確定申告の 準備について

もうすぐ、確定申告の時期がやってきます。そこで、準備していただく資料等をお知らせしますので、確認しておいて下さい。

①商品・材料等の在庫を調べておいて下さい。(消費税込みであることをお忘れなく。)

②売掛金・買掛金の残高を調べておいて下さい。(12月末現在で入金・支払いの済んでいない分も含まれます。)

③固定資産(車・備品等)の増減等があったかどうか。

もし、あった場合は見積書等があるかどうか確認しておいて下さい。

④その他
生命保険・損害保険の控除証明書があるかどうか確認しておいて下さい。また、医療費が10万円以上の方は領収書も忘れずに。

※資料等の準備や当事務所への御持参は出来るだけ早い目にさせていただきますようによろしくお願ひします。

大きなドリーム 確かなビジョン

最近よく話題に出るのが、この景気いつ頃まで続きますか、どんな商売が儲かってますか、などなど...

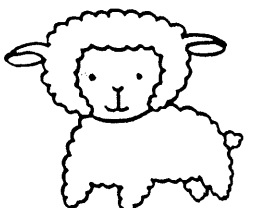
私が思うに商売とは、いかに続けていくかではないか、コツコツと長い時間をかけて真面目にやってきた社長が、最近やっと、ホット出来ました、でもまだまだやらなあきまさんと話してくれました。

人間、続ける事は簡単な様で難しい、そこで、私の様な普通の人間がどうしたら一つの事をやり続けていけるのかを考えてみました。

その為には、自分にとって大切なものは何か、自分の夢は何かをはっきりさせて、それを自分の中で具体的なものとしてイメージする。そして、その為には自分は何をしなくてはならないかを具体的に計画する。

人間、毎日の行動に追われるうちに、自分のしたいことを忘れてしまうものですが、それを忘れない様にする為に、「夢」は大きなエネルギーとなるので

す。
マイ・ドリームを大切に、この一年もがんばっていきましょう。



生命保険料控除

平成2年度の税制改正により、一般の生命保険料にかかる生命保険控除と個人年金にかかる生命保険料控除は、区分して控除することとされ、控除限度額は各5万円の計10万円(改正前55,000円)となりました。

将来の不測の事態に保険をかけられている方あるいはどういう保険をかけられているがよく説明を受けていられない方は、この機会に見直してみたいかがでしょう。

	改正前	改正後
支払った保険料が生命保険料だけの場合	10万円以上支払えば5万円控除	同 左
支払った保険料が個人年金保険料だけの場合	105,000円以上支払えば55,000円控除	10万円以上支払えば5万円控除
支払った保険料が両方ある場合	同 上	どちらも10万円以上支払えば10万円控除

甲風

最近、若い人達の言葉遣いがひどいような気がします。特に、電車などで大勢集まってひどい言葉で話しているのを見ると腹が立ちます。私も、まだ時々仕事と遊びの時の言葉遣いが、一緒になってしまう事があります。少し前までは、たかが、言葉遣いと思っていましたが、最近社会人としていろいろな人に接する内に、言葉の大切さ、きれいな言葉を気にするようになりました。言葉は人と人との橋渡し、大切にしましょう。

編集後記

今年の冬は暖冬で、スキー場では雪不足に泣いていると聞きます。

世界中が異常気象で、狂った時代だという人もいますが、いつの時代も努力していれば、いつかいい事もあると信じて...

今も窓の外には、白い雪が降りはじめているかも知れません。

今回の一番星プレス担当は、内堀、坂本、谷口、常光、五味でした。